

## Q RPA導入で業務の改善を

やまなか  
山中 基充 議員



## A 市の実情を踏まえ導入を検討していきたい

**問** RPAは、ロボットによる業務自動化と訳され、人間が行ってきた定型的なパソコン操作をソフトウェアにより自動化するものである。手作業でしかできないと考えられていた市の業務に適用でき、職員の労働時間削減や人為的ミスの防止といった効果が期待できる。思考を伴わない単純業務を軽減し、住民サービスの質的向上を図るために導入すべきで、既存システム自体を変えることなくシナリオを作成して効果的な所から導入でき、県内初の導入とのイメージアップも期待できるが。

**答** 本市の実情を踏まえ、他のICT活用も並行しつつ、その導入を検討していきたいと考えている。本市の場合、住民記録などのシステムの多くは、いわゆるパッケージ



ージシステムであり、システム間のデータ連携の仕組みも多数構築できている。RPAの効果が見込めるかどうかを見極めることが重要である。職員数が減少しても、多様化する行政需要に応え、真に必要な住民サービスを提供できるように、業務改善に取り組んでいく。

◎その他の質問

一 保育園や幼稚園にまだ通わない子どもの支援について

二 地域未来投資促進法の活用への市の支援について

## Q 公園の潜在力を引き出すために

おおの ひろこ  
大野 洋子 議員



## A 先進事例を研究し、取り組めるものから取り組みたい

**問** 市民と公園を回り課題箇所を担当窓口に伝えた。特に自動販売機の配線は危険な状態である。

**答** 公園利用者に支障を来すことがあれば、早急に対応していく。

**問** 公園の維持管理は、防災・安全へと果たす役割が変わっている。防災の視点で、身近な都市公園をどう使いこなすのか。

**答** 地域の防災訓練等の使用については、柔軟にお受けする。

**問** 幼児が遊べる公園が少ない。特色ある公園づくりの検討は。

**答** 現状、低年齢児の利用に特化した公園にする考えはないが、子育て世代がいつでも遊べる場所をつくっていく必要性は感じている。

**問** 市民の力を借りて公園を維持管理するマネジメントの検討は。

**答** 公園サポーター制度があるが、住民参加を広げていく手法・仕組みづくりをしっかりと検討する時期に来ていると考えている。

**問** 公園に子育てセンターや市民センターを併設するなど、にぎわいを創出するための公園機能を生かせる再編の考えはあるのか。

**答** 公園内の活用と集客、また、パークPFIについても、本市に合うのかどうかを見極めて検討する必要がある。

◎その他の質問 ごみ焼却からのエネルギー生産について

